

160 mm

25 mm

25 mm

論文タイトルまでは20mmの空欄を設ける (“ 原著論文 ”などのヘッダを事務局にて挿入)

日本コンピュータ外科学会誌 入稿ガイド ゴシック14pt ,1行30文字 行間7pt
(行間10pt) (サブタイトルは12pt)

Japan Society of Computer Aided Surgery Instructions for Manuscript
(行間20pt) Times Bold12pt ,1行35文字 行間7pt
明朝10.5pt ,1行6名(40字)まで 行間6pt

貴安育三 (正会員)^{a*}, 夏香好代^b

^a コンピュータ外科大学医学部先端医療センター
^b コンピュータ外科大学工学部医療工学科
(行間20pt)

Ikuzo Kiyasu^a, Sukiyo Geka^b Times10.5pt ,1行5名(40字)まで 行間6pt ,フルネームで示す

^aAdvanced Medical Center, University of Computer Aided Surgery
^bDepartment of Medical Engineering, University of Computer Aided Surgery
(行間20pt)

Abstract Times Bold9pt
This instruction pages provide you the guidance to prepare, format, and apply your manuscript for the Journal of Japan Society of Computer Aided Surgery, with an example of the layout. These pages themselves are formatted according to the instruction. The templates for major word processing programs are available.

Key words Times Bold9pt Times9pt ,1行40文字 行間5pt
Author's kit, Camera-ready manuscript, Copyright transfer form, Color pages, Original files.
(行間20pt)

<p>(1行分あける)</p> <p>1. はじめに 章見出しはゴシック10.5pt 本冊子は、日本コンピュータ外科学会誌に論文を入稿いただくにあたっての原稿作成のガイドラインにつき説明しています。よくお読みの上投稿願います。本学会では印刷工程での誤植混入回避、刊行までのスピードアップ、および学会事務簡素化のため直接オフセット印刷可能な原稿投稿をお願いしています。よろしくご協力ください。</p> <p>2. 論文執筆 論文は表題、著者名、所属、Abstract、Key words (以上論文ヘッダ部)、論文本文から構成する。和文</p> <p>(1~2行分あける)</p>	<p>には、新かなづかいを用いる。外国語、外国人名、薬品名は原語のまま用いる。節見出しはゴシック10pt</p> <p>2. 1 論文ヘッダ部 ゴシック10pt</p> <p>a) 表題中には原則として略語を用いないこと。ただし、広く一般に認知され、本文中で繰り返される略語はそのかぎりでない。</p> <p>b) 著者が2名以上の場合は、所属に対応させて氏名にa, b,... の記号を上付き縮小サイズにて付す。</p> <p>c) 筆頭著者は正会員、学生会員の区別を明記する。(次席筆者以降は必要ない)</p> <p>d) 著者所属には住所を含めない。所属名の略記に関しては著者の判断で行なって構わないが、広く一般に認知されないと思われるものについては事務局が修正を求めることがある。</p> <p>e) 連絡先とする著者の氏名には"*"記号を上付きにて縮小サイズにて付し、第1ページ目の脚注に同記号に続けて所属先の郵便住所、(利用可能ならば)電子メールアドレスを記す。筆頭筆者でなくても構わない。</p>
---	--

7 mm

* 国立ME研究所 明朝8pt
〒???-???? 市 1-1
@yourdomain.jp

受付 年 月 日 採択 年 月 日

42 mm

本文は明朝9pt(英文字 数字はTimes) 行間6pt, 1行22字 2段組

連絡先とする筆者の所属先の郵便住所(利用可能なら)電子メールアドレスを脚注する。筆頭筆者でなくても構わない。所属などの変更があった場合は“現.”として示す。
最下行には原稿受付日などを事務局で挿入するので1行空欄にすること。

f) アブストラクトは200 words 以内, キーワードは5つ以内とする. 両者とも英文とする.

g) 本文が和文の場合も, 表題, 著者名と所属には英語を併記する.

2. 2 論文本文

a) 和文または英文にて表記する.

b) 見出しは例のように, 章は1., 2., 節は1.1, 1.2, 項は1), 2), ... とナンバーを付す.

c) 本文中たびたび繰り返される語は略語を用いてもよいが, 初出の際は全綴りを記載し, (以下..... と略す) としてその旨を断ること.

d) 度量衡の単位は原則としてSI 単位を使用する. その他の単位系は必要に応じ補記する.

例; センサの定格入力は9.8 N (1 kgf) ...」

2. 3 図表

a) 図の下側および表の上側に Times Bold 体で説明文を付す. 図表中の文字および説明文は英文で記す.

b) 本文中においては, 図は Fig. 1, Fig. 2 のように, 表は Table 1, Table 2 の要領で出現順に通し番号を付す. 初出のみボールド体 (太字体) とする.

2. 4 数式

a) 数式には式(1), 式(2)の要領で出現順に通し番号を付す. 数式の展開過程は特に必要な場合を除き, 省略して簡素化を図ること.

2. 5 脚注・文献

a) 脚注は, ^{注1)}, ^{注2)}などの記号をもって上付き縮小表記にて本文中に示し, そのページ最下部に入れる. 必要最小限にとどめること.

b) 文献は¹⁾あるいは連番の場合は²⁾⁻⁴⁾⁶⁾⁸⁾などの記号をもって上付き縮小表記にて本文中に示し, 論文末尾に「文献」(英文ではReferences)と題して番号順にリストする. 1番号1文献とする. 和・英文ともにBritish Medical Journal 形式に準じる(例については, 本小冊子末尾を参照).

2. 6 その他

a) 論文採択後に著者の所属が変更になった場合は, 第1ページ目左下の脚注に「現・」と表記して新しい所属を記す.

b) 「謝辞」などは論文本文末尾に記す.

c) 簡素にまとめることを心がけること. 実験資料などの提示, 式の展開が冗長にならないこと.

3. レイアウト・組版

3. 1 形式

a) 用紙と余白 :A4 の無地白色紙を使用し, 文章, 図表その他一切を文字面(タテ230mm, ヨコ160mm)の範囲内に収める. 上に25 mm, 左右に25 mm, 下に42mmの余白を設けるとその範囲となる.

b) 段組 :論文ヘッダ部は1段組, 本文以降は2段組(カラムの間隔は7 mm)配置とする. なお, 図表が長幅を必要とする場合は, 両カラムにわたり配置して構わない.

c) 配置 :論文本文およびアブストラクトはカラムの幅に均等配置(カラムの左右端に文字が並ぶように文字間を調整する配置法)とする. 論文タイトル, 著者名, 所属, 見出しなどは左寄せとする.

d) 字下げ :論文本文の段落先頭は1文字程度の字下げ(インデント)を行なう. Abstract とKey words は全角2文字相当の字下げを行なう.

e) フォントサイズ :9 ポイントを基本とする. 論文タイトルは14 ポイント(英文は12 ポイント), 章見出しは10.5 ポイント, 脚注・図表説明・文献は8 ポイントとする.

f) フォントの種類 :本文の和文フォントは明朝系(細明朝, MS明朝など), 欧文フォントはTimes とする. 見出しの和文フォントにはゴシック系(MSゴシックなど), 欧文フォントにはArial, Helveticaを用いる. その他, ギリシア文字など最小限必要なフォント(Symbol)の利用は差し支えない.

g) 行間 :シングル・スペースを基本とする. 複雑な数式が入る場合などは適宜広げる.

h) 孤立行 :見出しおよび段落末尾が1行だけ孤立する場合は, 前後の1行を送り込むことで孤立を回避する.

i) 段落間の空白 :論文タイトル上に20 mm の空欄を設ける(「原著論文」などのヘッダを事務局にて挿入する). 論文タイトルと著者名の間, 著者名とアブストラクトの間はそれぞれ20pt 相当の空白を配置する. 論文ヘッダ部(キーワードまで)と本文は20pt 程度の空白行をもって配置する. 章見出しの前にも1行相当の空白を配置する.

j) 連絡先 :連絡先とする著者一名の所属先の住所および電子メールアドレス(利用している場合)を第1ページ目左下の脚注に記す. 筆頭筆者でなくてよい. 連絡先の最下行に1行空欄を設ける(原稿受付日などを事務局で挿入する).

k) プリンタ :印刷にはレーザープリンタや(最近の)イ

ンクジェットプリンタなど、解像度が高く濃淡ムラ・に
じみの少ない高品質なものを用いること。

3. 2 表

- a) 罫線の使用・配置は自由であるが、表の上下辺には設けること。
- b) 表の配置場所は、本文の関連する部分から極端に離れないこと。コラムにまたがって構わない。

3. 3 図・写真

- a) 原則白黒モノトーン刷りだが、カラーも可である。
- b) 配置場所は、本文の関連する部分から極端に離れないこと。カラー部分の配置は印刷の都合上編集部にて変更する場合がある。
- c) 必要に応じてコラムにまたがって配置して構わない。ただし文字面を越えないこと。
- d) 広いベタ塗り範囲を持つ図に対しては、スクリーンなど他の方法で表現するか、図の明度調整などを行なうこと。

3. 4 数式

- a) 数式は左詰めに配置する。
- b) 式番はカッコ()で囲い、右詰めに配置する。展開の経過を2行以上にわたり示す場合は、最後の行に配置する。

$$E = mc^2 \quad (1)$$

- c) 必要に応じてコラムにまたがって構わない。
- d) 数式に現われるギリシア文字にはギリシア文字フォント(Symbol)等を、その他にはTimes-Romanなどの半角フォントを用いること。全角文字を用いないこと。

3. 5 その他

原稿の各ページ右上に、ページ番号を鉛筆書きにて記入する。ページ番号は1から開始する。

4. 提出要領

4. 1 提出物

提出物は以下の通り。著作権譲渡書および別刷り申込書は学会ホームページ<http://www.jscas.org/>よりダウンロードできる。

- a) オフセット印刷用原稿 (1部)
- b) 図表・写真 (1部):裏面に図の上下, 番号(Fig. x), 筆頭著者名を記入しておく。
- c) 著作権譲渡書 (1部)
- d) 別刷り申込書 (1部)
- e) 電子媒体原稿 (1部):図・写真データファイル(Tiff,PIC T等), およびレイアウト済みのファイル(Word, PageMaker等)。

Table 1 Text styles, font, size, alignment in the camera-ready manuscript for JSCAS.

スタイル	フォント	サイズ (pt)	寄せ	字詰め (字)	行間 (pt)	その他
論文タイトル	ゴシック	14	左寄せ	30	7pt	表題上に20 mmの空白, サブタイトルは12pt
英文タイトル	Times Bold	12	左寄せ	35	7pt	前に10ptの空白
著者名	明朝	10.5	左寄せ	6名	6pt	前に20ptの空白
所属	明朝	10.5	左寄せ	40	6pt	
英文著者名	Times	10.5	左寄せ	5名	6pt	前に20ptの空白
英文所属	Times	10.5	左寄せ	40	6pt	
Abstract (見出し)	Times Bold	9	左寄せ			前に20ptの空白
アブストラクト本文	Times	9	均等配置	44	5pt	
Key words (見出し)	Times Bold	9	左寄せ			
キーワードリスト	Times	9	均等配置	44	5pt	本文との間に20ptの空白
章見出し	ゴシック	10.5	左寄せ			前に1行相当空白
節見出し	ゴシック	10	左寄せ			
小見出し	ゴシック	9	左寄せ			
本文・謝辞本文	明朝, Times	9	均等配置	22 ~ 24	5pt	2段組み
謝辞・文献(見出し)	ゴシック	9	左寄せ			
文献リスト	明朝	8	均等配置	25	2pt	突き出しインデント
脚注	明朝	8	左寄せ	25	2pt	
図中文字	Times	7 ~ 8	適宜			原則英文
図表番号	Times Bold	8	左寄せ			英文
図表説明文	Times	8	左寄せ	25	2pt	英文
表の本体	Times	7 ~ 8	適宜			原則英文
数式	Times	9	左寄せ			左2字空け

本来、表は英文で書くべきだが、ここでは便宜のため日本語としてある

4. 2 版組みを依頼する場合の提出物

本誌ではオフセット印刷できる原稿での入稿を基本としているが、レイアウト・組版が不可能な場合は、実費にて学会事務局に版組みを依頼することができます（投稿規程を参照）。

この場合の提出物は以下の通り

- a) 原稿（1部）
- b) 図表・写真（1部）：裏面に図の上下，番号(Fig. x)，筆頭著者名を記入しておく。
- c) 著作権譲渡書（1部）
- d) 別刷り申込書（1部）
- e) 原稿のテキストファイルを収めた電子媒体原稿（1部）。図・写真データファイル（Tiff, PICT等）の添付が望ましい。

4. 3 送付先

印刷原稿は書留便または宅配便など配送追跡の可能な方法で、学会事務局に送付する。電子媒体原稿はFD, MO, ZIP, CD-ROMにて同封する。急ぎの場合は電子メールによる送付も可能ですので学会事務局にご相談ください。学会事務局の連絡先は別途投稿規程を参照のこと。

謝辞

本資料を作成するにあたり、諸先輩方のご指導をいただきました。御礼申し上げます。

文献

- 1) Roland P, Graufelds C, Wahlin J, Ingelman L. Human brain atlas: For high-resolution functional and anatomical mapping. Hum Brain Mapp 1994;1:173-184.
- 2) 三塩宏二, 中島哲夫, 杉山純夫. シングルフォトンエミッションCTにおける任意軸断層像の再構成プログラミングの開発と応用. 核医学 1996;19:507-551.
- 3) Stewart J, Broadus W, Johnson J. Rebuilding the Visible Man. VBC '96. Hamburg, 1996:81-86.
- 4) 猪飼篤. 分子に触れ! 分子・一細胞触診に見るMEの未来. 第36回日本エム・イー学会大会論文集. 松本, 1997:174.
- 5) Whitney J, Billoski T, Jones V. Evidence for Triceratops in Antarctica. In: Billoski T, ed. New Directions in Paleontology. New York: Academic Press, 1987: 24-27.
- 6) 岸上義彦, 橋本良夫. 画像解析と細胞診. 辻内順平編. 応用画像解析. 東京: 共立出版, 1981: 198-210.
- 7) Christensen R. Theory of Viscoelasticity. 2nd ed. New York: Academic Press, 1982.
- 8) 金谷健一. 画像理解: 3次元認識の数理. 第1版. 東京: 森北出版, 1990. **単行本の例**
- 9) Edison T. US Pat: 386974, 1888. **特許の例**
- 10) 江崎玲於奈. 特公昭 33-1234.

数式の展開, 実験資料などの分量が増える場合は、「資料」として論文末尾に添付できる。

謝辞の見出しには章番号は付さない。
謝辞は結論などの後、文献の前。

文献の章番号は付さない。日本語では「文献」、英語の場合は「References」

英文論文誌の例

和文論文誌の例

英文学会大会抄録集の例

和文学会大会抄録集の例

編著による単行本(英文)の例

編著による単行本(和文)の例

2002年9月5日版
(C)日本コンピュータ外科学会編集部会
Adobe PageMaker7.0J for Windowsで作成